

草地生産性向上対策事業
(平成 30 年度農林水産省予算)

事業内容

- ・チモシー草地（早生）主体の地域で、生育期間の異なる草種を導入し収穫適期を拡大。
 - ・サブソイラ等による耕盤層の破碎により圃場の排水性を改善。
 - ・耐倒伏性品種を導入（とうもろこし）。
- 上記 3 つの手法を用いて草地更新を行い、単位面積あたり収量を 25%以上増加する。

○取組事例紹介

美留和地区 岡島 睦

リスク分散型草地改良（耕盤層の破碎による圃場の排水性の改善）

面積 5.62ha

事業実施期間 平成 30 年 7 月～平成 30 年 9 月

施工者 J A、自己

行 程

- | | |
|-------------------|----------------------------|
| ①平成 30 年 7 月 29 日 | 耕盤層破碎 |
| ②平成 30 年 8 月 2 日 | 耕起前除草（5L/ha）ラウンドアップマックスロード |
| ③平成 30 年 8 月 12 日 | 耕起 |
| ④平成 30 年 8 月 13 日 | 防散タンカル散布 |
| ⑤平成 30 年 8 月 13 日 | 碎土 |
| ⑥平成 30 年 8 月 20 日 | 鎮圧（1 回目） |
| ⑦平成 30 年 8 月 20 日 | 施肥播種 |
| ⑧平成 30 年 8 月 20 日 | 鎮圧（2 回目） |

平成 30 年度 草地生産性向上対策事業

受益者 岡島 睦 5.62ha

施工前



耕盤層破碎



施工後

